

一次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「仕度の無いのはお互いさまさ。私の家にも、宝^Aといっては、妹と羊^Bだけだ。他には、何も無い。全部あげよう。もう一つ、メロスの弟^Cになったことを誇^Dってくれ。」

花婿^Eは揉み手^Fして、てれていた。メロスは笑って村人たちにも会釈^Gして、宴席^Hから立ち去り、羊小屋にもぐり込んで、死んだように深く眠^Iった。

眼^Jが覚めたのはあくる日の薄明^Kの頃である。メロスは跳ね起き、南無三^L、寝過^Mごしたか、いや、まだまだ大丈夫、これからすぐに出発すれば、約束の刻限^Nまでには十分間に合う。きょうは是非^Oとも、あの王に、人の信実^Pの存^Qするところを見せてやろう。そうして笑って磔^Rの台^Sに上^Tってやる。メロスは、悠々^Uと身仕度^Vをはじめた。雨も、いくぶん小降り^Wになっっている様子^Xである。身仕度は出来た。さて、メロスは、ぶるんと両腕^Yを大きく振^Zって、雨中^{AA}、矢^{AB}の如く走り出^{AC}た。

⑩ 私は、今宵^{AD}、殺される。殺される為に走るのだ。身代りの友を救う為に走るのだ。王の奸佞^{AE}邪智^{AF}を打ち破る為に走るのだ。走らなければならぬ。そうして、私は殺される。若い時から名誉^{AG}を守れ。さらば、ふるさと。

く太宰治『走れメロス』

① 線部 A～E の名詞の種類をあとのア～ウより選び、記号で書きなさい。

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| A | B | C | D | E |
| ア | ウ | ア | ア | イ |

ア 普通名詞 イ 固有名詞 ウ 数詞

② 線部 ①～⑫ の品詞名をあとのア～ケより選び、記号で書きなさい。
(同じ記号を何回使ってもよい。)

- | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| イ | キ | ケ | カ | キ | エ |
| ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ |
| ア | カ | ク | オ | ク | ケ |
- ⑦ 上[↑]ってやる ↓ 形式動詞

ア 動詞 イ 形容詞 ウ 形容動詞 エ 名詞 オ 代名詞
カ 副詞 キ 連体詞 ク 接続詞 ケ 感動詞

二次の各文の 線部が接続詞であるものすべてを選び、記号に○をつけなさい。

ア 楽しかった。また来月 USJ に行こうね。
イ パンを食べ、またご飯も食べた。

ウ 失敗した。そこで、やり直すことにした。
エ こら。そこでお菓子を食べるな。

三次の文の ①② にそれぞれ二字のひらがなを入れて、正しい文を完成させなさい。

・たとえ君と離れよう(①)、決して君のことは忘れ(②)だろう。

- | | |
|---|----|
| ① | とも |
| ② | ない |

